



岐阜北週報

10月 経済と地域社会の発展月間・米山月間

<input type="checkbox"/> 題 字	安藤 武司	<input type="checkbox"/> 会 長	安藤 武司	
<input type="checkbox"/> 例 会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	小泉 宣昭	2016-2017
<input type="checkbox"/> 会 場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹 事	波多野光裕	No.1648
		会報委員長	臼井 毅子	16.10.12発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1647 回 例会 10/5 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (4) 定例理事会 担当：米山奨学委員会	第 1648 回 例会 10/12 (水) 夜間例会 (長良川観光ホテル石金) (例会変更) 担当：会長・幹事・会員増強委員会	第 1649 回 例会 10/19 (水) 卓話 (1) 卓話者：岐阜市防災課 副主事 宮本 宗 様 『防災対策について』 100万\$ 担当：安藤 (重) ・若山会員

会長挨拶



私も、1ヶ月ぶりの例会出席となり、皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしました。日頃の、不摂生が体に悪影響を及ぼしました。皆様も、お体には充分お気を付けて下さい。

尚、先月は氷見ロータリークラブとの合同例会でした。本年は、19名様のご参加(出席)を賜りました事、親睦交流委員会の川崎委員長、小森副委員長には、お世話になりお礼申し上げます。私も12年間続いた、氷見RCの皆様にお会い出来ず残念に思いました。来年は、当クラブがお迎えの年になります。永瀬会長エレクト、宜しく願いいたします。

今月の月間テーマ「経済・地域社会の発展と米山月間」でもあります。地域発展では、先日の10月2日(日)は山県市での「ふるさと栗まつり」が実施されました。歌手の「原田悠里ショー」をはじめ、様々なアトラクションがあり、約1万人強の方々がお見えになり、盛大に行われました。私も、「山県市観光協会のあじ村」で名物の「松茸・山菜おこわ弁当」の販売

会長挨拶 続き

や市の観光案内PRを担当いたしました。

本日は、米山奨学委員会の担当で、「クラブフォーラム」であります。山口委員長宜しくお願いたします。米山記念奨学事業も、来年2017年7月は、設立50周年を迎えます。「米山学友」は世界を舞台に多方面で活躍されています。駐日大使や、教育・研究者等で何らかの形で、日本との繋がりをもたれる学友「学友会」も大きな存在です。50周年の節目を、寄付のみでなく、会員多くの情熱が必要です。これからも、学友の活躍の様子や、彼らを見守る心に留めるようお願いいたします。

今期(2016年4月~2017年3月)では、
 ・学部・修士課程(714人)・地区奨励、クラブ支援(21人)・海外応募者、海外学友会推薦(15人)計750名が活躍されます。
 残念ながら、近年奨学生が見えませんが、世界で活躍される、「学友会」の支援を今後もお願いたします。

出席報告

会員数：30名
 出席数：21/30名
 出席率：70.00%
 欠席者：9名(出席免除 4名 83.33%)

慶祝行事（敬称略）

1. 会員誕生日のお祝い
 - 10月 6日 川島 明雄 会員
 - 10月 13日 片桐 順一郎 会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
 - 10月 2日 岡田 広子 様
 - 10月 2日 小森 京子 様
3. 結婚記念日のお祝い
 - 10月 21日 若山 和正 会員
 - 10月 22日 波多野 光裕 会員

ニコニコBOX（敬称略）

- 安藤 武司：9月の一ヶ月間は、大変ご迷惑をおかけしました。本日より頑張ります。
- 森本 時夫：体調が未だに戻りません。会員各位の御理解をお願いします。
- 山口 八郎：本日は、米山奨学の担当でクラブフォーラムです。宜しく。
- 片桐順一郎：今月は、誕生日（13日）です。
- 国井 省二：安藤さん、退院お目出とう御座います。
- 小森 保敏：家内の誕生日を祝って戴き有難う御座います。
- 岡田 一二三、小椋 功
：氷見との合同例会、親睦交流委員会の皆様、有りがとう御座いました。
- 臼井 毅子：氷見に行けなくて残念！で～す！
- 川崎 賢二：氷見RCとの合同例会では、大変お世話になり、有りがとう御座いました。

委員会・同好会報告事項（敬称略）

- ・岡田 一二三 ロータリー情報委員長
10月21日（金）午後6時30分から都ホテルにてIGMを行います。参加者の方は、全員出席ですので宜しくお願い致します。どうしても出られない方は、必ず代理の方の出席をお願い致します。
- ・原尾 勝 増強委員長
来週の12日は、会長、幹事、増強委員会による夜間例会です。
会場は、石金さんで19時開始です。現在、来て戴けるオブザーバーは、3名の予定です。まだ参加して戴ける方がいらっしやいましたら、是非、お願い致します。

幹事報告事項（敬称略）

- ・氷見に行かれなかった方にもお土産を戴いております。此処にありますので行かれなかった方は、お持ち帰り戴く様、お願い致します。
- ・地区大会の件ですが高山で他にもイベントがあり、駐車場の確保が困難となりました。出来るだけ乗り合わせでお願いします。12台の予定を9台にさせて下さい、との事で先程お願いして9台に致しましたので宜しくお願い致します。

クラブフォーラム（4）（敬称略）

【米山奨学について】

米山奨学委員長 山口 八郎

日頃は、皆様には米山奨学へのご理解と御協力を賜りありがとうございます。皆様も御存知のように10月は米山月間となっております。私はガバナー補佐在任中に米山奨学に関連した事についてクラブ訪問時にお話をすることを計画しておりましたが、各クラブの時間の都合もあり出来ませんでした。そのような理由もあり、本日米山についてお話を機会を得ましたので、お話をしたいと思えます。

この米山奨学金制度は日本最初のロータリークラブ創立に貢献された米山梅吉氏の功績を記念して彼の死後、梅吉氏の偉業を永遠に偲ぶ事業をしたいと、1952年東京ロータリークラブで構想がたてられました。

当時ようやく戦後処理から復興へと向かい始めていた頃で「今度こそ国際親善と世界平和に寄与したい」という当時のロータリアンの強い思いがありました。太平洋戦争で東南アジア諸国に侵略した日本軍が多大な迷惑を掛けたことから将来の日本の生きる道は平和しかない、その平和を愛する日本人の心を世界に理解してもらう為にはアジアの国々から一人でも多くの奨学生を迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない、それこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業である、として最初東京ロータリークラブ「米山基金」を設立して募金活動を開始して第一号奨学生をタイから受け入れました。この事業は日本全国のロータリアンの共感を呼び、わずか5年で日本全国の共同事業に発展して1967年には当時の文部省から「財団法人、ロータリー米山記念奨学会」としての許可がおりました。この事業には、世話クラブ制度があり奨学生を受け入れたクラブでは奨学生が例会や、奉仕活動に参加したり世話クラブの人々とのコミュニケーション、からロータリアンとの交流を通して日本人の心を理解

クラブフォーラム（４）続き

してもらい、お互いに信頼関係を築き将来、平和の架け橋となる優秀な人材を育て、ロータリーが求める「奉仕の精神」や「世界平和への願い」を伝える、これこそが日本のロータリアンたちが58年間受け継いできた日本独自の事業の神髄なのです。

今月の月間ロータリーの友によりますと現在の年間の奨学生はおよそ730人、事業費は14.1億円と国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援した学生数は、累計1万8648人その出身国は世界119ヶ国に及んでいます。

ではこれよりDVDを観て頂きます。

会長挨拶《岐阜北ロータリーカップ・バレーボール大会2016》

第26回大会、6年生の部：優勝チーム／西郷スポーツ少年団・5年生の部：優勝チーム／岩野田北スポーツ少年団の皆さん、おめでとうございます。

5、6年生の決勝大会の終了にあたり、ご尽力いただきました皆様、出場された選手諸君ご父兄の皆様のご理解とご協力のお陰をもちまして、無事終了を迎えられました事、お礼申し上げます。

8月21日の開会式の際、Vプレミアムリーグ「岡山シーガルズ」の実技指導は、いかがでしたか？参考になりましたか？

この大会で「出来なかった事」「くやしかった事」「とても楽しかった事」、失敗もあり、成功もあり、一つの目標に向かって突き進む姿は、輝かしいもので、とても感動を与えてくれます。今回、出場された皆さんも、バレーボールを通して心と身体を鍛えるとともに一人一人、チームワークの繋がりを大切にしてくれる事を期待します。これからも、様々な大会に出場されると思います。ベストを尽くして下さい。

最後に、皆様のご発展を祈念して、挨拶とします。ありがとうございました。

岐阜北ロータリーカップ 風景



岐阜北ロータリーカップ 風景 続き



次回例会のご案内

第1649回 例会 10月19日(水)

卓話(1)

卓話者: 岐阜市防災課 副主事

宮本 宗 様 『防災対策について』

100万\$

担当者: 安藤(重)・若山会員

会報・広報 10月担当 原尾 勝